

こがねい 市議会だより

第169号
第4回定例会

平成10年(1998年)
2月6日発行

発行/小金井市議会 編集/議会報編集委員会
〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号 TEL(0423) 83-1130(直通) FAX(0423) 87-1225

情報公開条例を修正可決

議員提案
まちをきれいにする条例を可決

執行困難
として
市長が再議へ



春を待つ梅(右下は雪景色の念仏坂付近 1/9撮影)

教育委員に有近哲郎氏

(星野哲郎)

平成9年第4回小金井市議会定例会(林茂夫議長)は12月2日に開会し、会期を1日間延長して12月19日に閉会しました。
今定例会では、当初、一般会計補正予算(第3回)など議案9件と報告1件が送付されました。その後、教育委員会の任命同意議案など、議案5件が追加送付され、合計14件のうち、人事案件について同意し、8件を可決、5件を継続審査としました。

開会した2日には、三宅島の行政視察の際のトラブルに関して、一定期間を要しました。3日の本会議では、閉会中の委員会審査を終了した案件の審査報告を行った後、「小金井市まちをきれいにする条例」に対して、罰則規定を削除する修正案が否決されました。また、閉会中の委員会不採択とした「小金井市の福祉と教育がさらに充実することを求める陳情書」を、本会議で議長裁決により採択とした他、決算5件を認定、議員案1件を否決、請願・陳情については、3件を採択、4件を不採択としました。

4日の本会議では、高齢者福祉に財源を振り向けるため、「敬老金支給条例を廃止する条例」が提案され、厚生文教委員会に付託しました。また、下水道使用料金等の規定の見直し等をする「下水道条例の一部改正」が提案され、建設委員会に付託されました。

9日の本会議では、追加送付された教育委員会の任命について同意し、一連の不祥事の管理責任を明確にするため提出された、市長ほか三役の給料の減額の特例条例について即決しました。

11日の総務委員会では、「情報公開条例」が修正可決されました。(5頁参照)

18日の本会議では、行政視察のトラブルに関して議員の政治倫理に関する条例に基づく斎藤康夫議員の弁明が行われた後、テレビアニメ番組による当市の子どもの被害状況等について緊急質問が行われました。また、審査の終了した案件の審査報告中、総務委員会が修正可決された「情報公開条例」に対して、議員から別の修正案が提出されました。その後、議案2件が提案され、委員会に付託し、また会期を1日間延長しました。
最終日となった19日には、審査の終了した案件の討論、採決を行い、「情報公開条例」を委員会の修正どおり可決しましたが、市長から再議に付すため臨時会を招集したい旨の発言がありました。(臨時会は8頁参照)
その後、議員から提案された意見書14件と行政視察のトラブルに関して斎藤康夫議員に反省を求める問責決議を全て可決し、閉会しました。

第4回 定例会日誌

- 12月2日——本会議(2頁)
- 3日——本会議(2頁)
中央線・駅周辺整備調査特別委員会(5頁)
ごみ問題調査特別委員会(5頁)
- 4日——本会議(2頁)
- 5・8・9日——般質問(2~4頁)
- 10日——厚生文教委員会(5頁)
- 11日——総務委員会(5頁)
- 12日——建設委員会(5頁)
- 15日——予算特別委員会(5頁)
- 16日——行財政の改革を推進する特別委員会(5頁)
中央線・駅周辺整備調査特別委員会(5頁)
厚生文教委員会(5頁)
建設委員会(5頁)
- 18日——本会議(6頁)
予算特別委員会(5頁)
議会運営委員会(5頁)
- 19日——本会議(6頁)

この議会報は再生紙を使用しています。
ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。

本 会 議

(2・3・4・9日)

▼2日の本会議では、一部事務組合議会活動状況報告がなされ、質疑が行われました。

▼3日の本会議では、閉会中継続審査案件の審査報告がなされ、小金井市まちをきれいにする条例について...

▼4日の本会議では、小金井市土地開発公社の経営状況について...

▼また補正予算1件と、小金井市敬老金支給条例を廃止する条例の一部改正...

▼9日の本会議では、教育委員会委員に有近哲郎氏を任命することに同意しました。



教育委員会委員 有近哲郎氏

また一連の不祥事の管理責任を明確にするため、平成10年1月の給料を市長10%、助役、収入役、教育長それぞれ5%減額する特例条例について可決されました。

敬老金廃止の質疑

廃止に当たっては、どのような対応をしてきたのか。

平成8年度に68歳から74歳までの敬老金

まちをきれいにする条例 原案可決

敬老金の廃止によって生みだされる財源の振り分けの考え方は、決められた財源をどのように配分するか総合的に考えている。

高年齢福祉に対する効率的対応をしていきたい。

下水道使用料の改定の質疑

今回の改定は退職手当値に關連して国からの指導があったのか。

今、小金井市自らができることは何かという考え方によるものである。

公共料金検討委員会等の諮問機関を設置すべきではないか。

下水道使用料は算出方法が決まっており、議会へ直接諮問したほうがよいと考えた。



下水道料金改定の行方は、(写真)維持管理工事風景

一般質問 (5・8・9日)

こころが聞きたい ただしたい

SIDSから小さな命を守るために



鈴木議員 ①さつきまで元気があった赤ちゃんが突然亡くなるSIDS(乳幼児突然死症候群)...

保健福祉部長 問題意識はある。研究する。

分譲マンションの維持・管理の支援を

長谷川議員 ①市民の制が居住している分譲マンションの公共的性格から...

都市整備部長 (ウ)考えるべき方向で改めていく必要がある。(ウ)日常の勤務ぶりも大事だし、一面試験制度も重要だ。併用を今後研究していく。

小金井再建パート3

適正評価



佐野議員 ①の法律、条例も職務と職責に応じた給料等の支給を、と定め、国や都も職員の評価をいっている。

功役 (ウ)給与と一時金の勤め手当については、評価を

市政全般について、議員が自由にただせる一般質問の制度があります。今定例会では発言通告のあった19人の議員のうち、都合により辞退した議員を除く18人が3日間にわたって行いました。質問内容の多かつたのは、高年齢福祉問題、行財政問題、こもりサイクルについてなどでした。以下はその要旨です。(原稿は各議員が作成)

小金井の街づくり

和田議員 ①本市の法人市民税の推移を見ると、昭和60年に5億8千万円、平成元年11億2千万円、パブルがはじけた平成4年8億5千万円、7年5億7千万円、ほぼ10年前の水準に戻っている。製造工場は昭和60年に145あったが、現在94に減少している。

都市整備部長 武蔵小金井駅南口再開発6・3(ヘクタール)については、約15万平方メートルの床をつくる。東小金井駅北口の土地区画整理事業は平面換地である。相田議員の提案を念頭に置きつつ、各住区公園及び新都市建設公社等と調整を図り、今後の市の財政構造を変えざるためにも、十分研究したい。

意見書・決議

今定例会では、議員から意見書14件、決議1件が提案され、15件に対しては原案のとおり可決しました。

1 早急の法整備、条約批准、条約の早期発効を促すこと 2 対人地雷の製造中止と廃棄を速やかに行うこと 3 調印していない地雷保有国に働きかけること 4 除去の推進と技術開発、被害者対策を果たすこと 5 外務大臣演説の我が国の方針を堅持、実行すること

1 実態に合わせた児童扶養手当の拡充を進めること 2 総合的な自立支援策を早急に検討すること 3 認知した父親の援助がない場合には支給されるように改正すること

1 2000年の数値目標を90年レベルの20%に削減すること 2 代替フロンに、法規制等、適切な処置を講ずること 3 フロン回収処理徹底へ、罰則を含む法制化をすること 4 低公害車や新エネルギー電力買取へ法整備をすること 5 低エネルギー生産・消費構造への転換を図ること

1 国庫負担による各校配置への法制化を進めること 2 教員格のカウンセリング研修の充実を図ること 3 有資格者育成への環境整備に支援をすること

1 国庫負担による各校配置への法制化を進めること 2 教員格のカウンセリング研修の充実を図ること 3 有資格者育成への環境整備に支援をすること

市財政の現状と今後の見通し

武井議員 ①今年度の歳入・歳出の見通しについて、(ア)どのような状況なのか、(イ)来年度予算編成にどうのぞむか、
企画財政部長 (ア)歳入では3億8千500万程度の減額が見込まれます。特に収益事業収入は当初より2億円近い減収になります。一方歳出は1億6千400万程度の減額が見込まれ、歳入歳出差し引きで2億2千400万円の赤字が予想される状況です。(イ)予算説明会を10月13日開催し、財政課の試算で10億円の財源不足が見込まれる厳しい現状であることを職員に説明し、財政健全化計画等の指針に基づいた厳正な予算見直しを指示しています。

介護保険制度について問う

森戸議員 ①国会で国民の不安をよそに介護保険制度が導入されたことは遺憾である。いくつかの問題点と市の対応について問いたい。(ア)介護認定についての苦情などの対応ができる福祉オンブズマン制度を設けられないか。(イ)65歳以上の保険料を無料にしないか。(ウ)介護保険事業計画の策定にあたっては、市民参加がすすむべきか。(エ)市長は財源や制度の問題点の改善を同じ要望すべきではないか。

集会施設の活用と開放



佐藤議員 (ア)高齢化社会を迎え、小金井市で30・40年暮らしたお年寄りが特別養老ホームに入所し、場所がないため誰にも取られず、寂しい状況で暮らす者を出されるといふ状況があると聞く。お年寄りが必要な場所として、集会所を積極的に活用して、集会所を積極的に活用して、という声があれば、ぜひ市に実施していただきたいと考え、どうするか。(イ)集会所の稼働率の現状はどうなっているのか。

福社保健部長 (ア)福祉オンブズマンについては次の課題である。(イ)65歳以上について、一定程度の負担をしてもらうことが必要である。減免などは課題としていきたい。(ウ)十分配慮していきたい。
市長 (ア)問題があれば是正、改正等を要望していく。(ウ)焼却灰のリサイクルについて、自治調査会で検討しているようだが、議会に報告すべきではないか。(イ)ゴミ処理基本計画の見直しを昨年度中にやられていないのは問題であり、早急に策定すべきではないか。
生活環境部長 (ア)今後、市

②中町二丁目3番2先の国有地払い下げを前提に国から昭和61年に譲与を受けているのに、(ア)何故10年以上も長期に放置されているのか。(イ)早期に関係住民と話し合いをもつべきでないか。
建設部長 (ア)関係住民と話し合いが進まなかった。(イ)個別解決も含め努力したい。

財源確保に不断の努力を

西岡議員 ①現段階では、給与表の見直し(内部自助努力)が行財政改革の大きな柱と認識する。(ア)市長は管理職を集め、厳しく訓示を出し、理解と協力を求めたい。その状況(イ)市職員の給与表(同一年齢賃金制)は三多摩で小金井市が最初に導入し他市に広まった。三多摩への責任を果たすとともに、給与表とは年齢ではなく職務に公平でやる気のある人に報われる制度であるべき。早急に職務給に移行し、それが各種歳入確保策の大前提と考える。いかにかが(ウ)給与表の見直しと共に人事評価制度・全職員の昇給時試験制度・民間への研修制度・職員提案制度の導入等である意見がある。なかなか実現しない状況である。今後いろいろな角度から検討して実現できるように努力したい。(イ)集会所の稼働率は地域により多少の差はあるが50から70%である。



小金井市の土地資産活用可能性について

青木議員 武蔵小金井駅南口付近に、市有地が集中している。南口の再開発計画の中で、公会堂、自転車駐車場、小金井警察署と署長官舎跡地を再開発に注ぎ込んで市民施設として活用し、連帯形成していく。この考え方が出てきたら、ぜひ市に実施していただきたい。しかし、むしろ単価の高さ、これら土地を処分して公共施設を分散することで資金を捻出していくべきではないか。(ア)前原駐車場、本庁舎用地の将来計画は、(イ)蛇の目跡地を庁舎予定地としてだけでなく、もっと活用することによって、今後の財政再建に資

するべきではないか。
企画財政部長 (ア)前原駐車場、本庁舎用地は高齢社会に対応する施設計画を考えた上で、蛇の目跡地は確かに土地利用密度が低く、ここは庁舎建設を予定しており、公会堂は南口再開発の関係もある。単独では見えないが、(イ)その他、ポケットパークや緑地などの管理について対策を求めました。
市長 (ア)蛇の目跡地は確かに土地利用密度が低く、ここは庁舎建設を予定しており、公会堂は南口再開発の関係もある。単独では見えないが、(イ)その他、ポケットパークや緑地などの管理について対策を求めました。

部の医療費助成(マル福廃止)について市の対応を問う



大島議員 ①(ア)都は、シルバパスや老人医療費助成などを非課税世帯のみに、敬老金も廃止するなどの来年度予算案を発表した。市長の見解を問う。(イ)シルバパスを非課税世帯のみの場合、削減される人は何人か。(ウ)医療費助成(マル福)も非課税世帯のみの場合は、(エ)市の方針はどうか。
市長 (ア)市町村協議会で、都の方針はどうかという一方、的に削らないでくださいとお願いしている。
福祉保健部長 (イ)平成9年度の人数で、非課税世帯を39%とすると3千44人となり平成8年度と比べて受給者は2千200人が削減の対象となる。
市長 (ア)マル福で平成9年10月に資格をもった人が10人で、非課税世帯を7%とすると受給対象者は8人となる。
その他 マル福が適用されない5倍から20倍の医療費

増となり深刻な影響がある。市民の暮らしを守るために毅然とした態度をとっていただきたいと要望。また、来年は三宅村との友好盟約20周年を迎えるが三宅指定民権利用者の補助金を廃止するべきでないかと質問しました。
資源リサイクルのための生ごみの堆肥化について
小山議員 (ア)可燃ごみの生ごみを資源化することでごみ減量になるが、小金井市の生ごみ堆肥化の現状は、(イ)実際にEM菌で堆肥化している市民の反応や評判は、(ウ)できた堆肥の使われ方は、把握しているか。(エ)市民参加によるモデル地区を設定し、堆肥化システム導入の実験を考慮してみたいか。
生活環境部長 (ア)昭和62年度から平成8年度まで生ごみ補給、平成8・9年度は細世帯に生ごみ堆肥化容器的購入補助、平成8・9年度は細世帯に生ごみ堆肥化容器的購入補助を実施。積戻しの貸付を受けているので肯定的な意見が多い。(ウ)堆肥として庭やプランター等で利用している方は92・3%で、7・7%は、堆肥として利用していない。リサイクルできない状況もあり、今後J.A.(農協)等の意見も聞き協議をしたい。(エ)生ごみの分別収集をするモデル地区、生ごみ堆肥化容器を貸与するモデル地区の二つの方法が考えられる。いろいろ検討しなればいけないことや実施に伴う経費等も含めた条件整備も必要。今後の研究課題とする。
現在の分別収集の周知徹底、さらには生ごみを堆肥化し、資源循環型のまちづくりを目指して、ごみゼロ社会をつくることを目標に置くよう要望。

可決された意見書・決議(要旨)

- 保育にかかわる国営付帯決議の尊重等を求める意見書
- 児童福祉法改正に当たって衆参両院の厚生委員会において可決された付帯決議の趣旨を尊重して、時代の要請に応える保育の施策を講ずることを強く要求する。提出先 内閣総理・厚生大臣
- 老人医療費助成(マル福)を現行のまま継続することを求める意見書
- 慢性疾患が多く、健康への不安と背中合わせの高齢者のため、老人医療費助成(マル福)は後退させず、現行のまま継続することを強く要望する。提出先 東京都知事
- (以上、7件は全員賛成で可決されました)
- 公共事業費の財源確保に関する意見書
- J.R中央本線連続立体交差事業や駅周辺の街づくり事業のため、次の事項の表現を強く要請すること
- 1 新たな道路整備5箇年計画推進へ財源確保を図ること
- 2 道路特定財源はカソリン売上高の全国シェア等を踏まえて拡大すること
- 提出先 内閣総理・大蔵・建設大臣
- 〔起立採決結果〕
- 賛成 市民派議員クラブ(2)、小金井市議会公明、自由民主党、自民クラブ、社民・市民権、市民連合、行財政改革の会
- 反対 市民派議員クラブ(3)、市民自治がねい、生活者ネットワーク
- 退席 日本共産党
- 盗難の合法化につながる組織的犯罪対策法の立法化に反対する意見書
- 「組織的犯罪に対処するための刑事法整備要綱骨子」中の捜査当局の盗難の合法化は、市民社会に重大な影響を与える。よって、盗難の合法化につながる組織的犯罪対策法の立法化に強く反対する。提出先 内閣総理・法務・自治大臣
- 〔起立採決結果〕
- 賛成 市民派議員クラブ、日本共産党、小金井市議会公明、社民・市民権、市民自治がねい
- 反対 自由民主党、自民クラブ
- 退席 市民連合、生活者ネットワーク、行財政改革の会
- 銀行等の不良債権処理のための公的資金導入に反対する意見書
- 銀行等の不良債権の処理のための公的資金導入に強く反対し、①大蔵省の監督指導責任の明確化、②金融機関の財務状況の情報開示、③経営破たんを招いた経営者の責任追及、④強力な貸付債権回収機構の確立を求める。提出先 内閣総理・大蔵大臣
- 〔起立採決結果〕
- 賛成 市民派議員クラブ、日本共産党、小金井市議会公明、社民・市民権、市民連合、市民自治がねい、生活者ネットワーク
- 反対 行財政改革の会
- 退席 自由民主党、自民クラブ

今だから、周年事業は簡素で心のこもったものに

中根議員 ①来年は市制40周年の節目で意義ある年だ。市民の心の中に、小金井の歴史や文化や豊かなものを感じ取っていただいで良好な未来へつなげる絶好のチャンスだ。と考える。市民生活に活力が湧くような企画が欲しいが、(7)記念事業に対する基本的な考え方は、(4)具体的構想はあ

タテ割り組織の見直しを



野見山議員 ①(7)市民にわかりやすい組織にするために、環境行政全般にわたる専門課として行政課を保育課に一本化しないか、(4)在宅福祉課が、難病者や、妊婦などヘルパーが必要なら、にちゃんとい供給できるようにしないか、(4)保健を廃止し、グループ制にした市では、縦割りの行政の欠点が無くなり、仕事の効率化と無駄な人員削減につながった。検討せよ。

企画財政部長 (7)鋭意検討する。(4)研究していく。
福祉保健部長 (4)精神障害者は市の事業、難病者にはできる取り組みはしたい。
(7)福祉共同作業所運営審議会の答申が否決された。事務局はどのように責任を感じて対応したい。
(7)97年11月26日読売「被殺呼ぶ原発見学、小金井の中学、修学旅行で計画」報道で、市民から心配の声も、現場の自主性を尊重するが、公開性

周年だ。阿波おどりでは、市役所連に大勢参加することによって心をこめた花が添えられる。細かいことを一つ一つ大切にしながら進めて欲しい。

企画財政部長 (4)財政事情が厳しい中で、40周年記念事業の中で考えているという。助成対象事業の活用もしたい。事業的には同物異名、備前17事業、設置物1事業だが、予算編成の中で検討したい。
(4)市報によるPRなどして市民の皆さんが参加できる行事にしていく。二理願願したい。

緑化推進について

若竹議員 ①緑化地区指定について、(7)武蔵野の植生に合った樹種を、(4)専門家等と交え懇談機会を持つ意思があるか。(4)環境団体等の声を聞く場を持つ。(4)プロダムから生け垣へ、民間工務店とのPR協力。(4)生け垣の体験談を広報に。(4)地震で崩れる心配が少ない利点を防災消

計画課長 (4)都の苗木40種の中で対応。(4)緑地保全対策委員会(12名)及び緑の推進委員(15名)をお願いして対応できる。(4)市報で対応中だが、工務店を通じてのPRは研究したい。(4)検討する。
(4)学校教育行政について、(7)97年11月26日読売「被殺呼ぶ原発見学、小金井の中学、修学旅行で計画」報道で、市民から心配の声も、現場の自主性を尊重するが、公開性

職員がより意欲を持って働ける職場にするために

稲葉議員 小金井市の財政悪化の原因は土地の買い過ぎの冠や市の後援、更に都の補助金対象事業の活用もしたい。事業的には同物異名、備前17事業、設置物1事業だが、予算編成の中で検討したい。
(4)市報によるPRなどして市民の皆さんが参加できる行事にしていく。二理願願したい。

都の施設を

井上議員 ①新聞によると、都や国に公共施設として活用を求めている。職員の評価制度を改善し、昇任昇給制度を

建設部長 (7)国土法に基づいて、会議を公開したとしても問題はない。現時点では、審査会、審議会の主体性に任せていく。(4)公文書は、情報公開条例が通れば公開対象になる。
(4)福祉、教育部門の予算削減については市民サービスへの影響について、(7)予算削減の対象項目および、各年度ごとの対前年度比削減目標は何%か。(4)児童保育所、小中学校、公民館、図書館の影響を改善していくために、早期に対応すべきと考えている項目は、
企画財政部長 (7)消耗品、郵便料、電話料、光熱水費で5年度から8年度までは消耗品、郵便料、電話料等は10%削減、9年度は10%削減、10年度も5%削減を目標としている。
助役 (4)財政が厳しいことから不便をかけた、不十分な点があると思う。市民サービスが下がらないように、工

職員の意欲を持って働ける職場にするために

稲葉議員 小金井市の財政悪化の原因は土地の買い過ぎの冠や市の後援、更に都の補助金対象事業の活用もしたい。事業的には同物異名、備前17事業、設置物1事業だが、予算編成の中で検討したい。
(4)市報によるPRなどして市民の皆さんが参加できる行事にしていく。二理願願したい。

都の施設を

井上議員 ①新聞によると、都や国に公共施設として活用を求めている。職員の評価制度を改善し、昇任昇給制度を

建設部長 (7)国土法に基づいて、会議を公開したとしても問題はない。現時点では、審査会、審議会の主体性に任せていく。(4)公文書は、情報公開条例が通れば公開対象になる。
(4)福祉、教育部門の予算削減については市民サービスへの影響について、(7)予算削減の対象項目および、各年度ごとの対前年度比削減目標は何%か。(4)児童保育所、小中学校、公民館、図書館の影響を改善していくために、早期に対応すべきと考えている項目は、
企画財政部長 (7)消耗品、郵便料、電話料、光熱水費で5年度から8年度までは消耗品、郵便料、電話料等は10%削減、9年度は10%削減、10年度も5%削減を目標としている。
助役 (4)財政が厳しいことから不便をかけた、不十分な点があると思う。市民サービスが下がらないように、工

地方分権に伴う地方自治体の税源移譲等に関する意見書
 真の地方分権には権限と税源の移譲は密接不可分である。よって、地方税の拡充等地方分権に不可欠な税源移譲及び補助金の適正化を速やかに図ることを強く求める。
 提出先 内閣総理・大蔵・自治大臣
 (採決結果) 全員賛成(退席 日本共産党)

国民の祝日に関する法律の改正を求める意見書
 ゆとりある生活スタイルの実現、休暇の分散効果、地域の活性化及び経済波及効果、祝日本来の意義の浸透のため、祝日三連休化を実現することを強く要望する。
 提出先 内閣総理大臣
 (起立採決結果)
 賛成 市民共産党、小金井市議会公明、社民、市民権、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会
 退席 自由民主党、自民クラブ、市民連合

三宅島友好訪問の帰途にトラブルを起した斎藤康夫議員にかかわる調査決議
 三宅島訪問は、来年に友好20周年をひかえて有意義な親善訪問であったが、その帰路の船中での齋藤康夫議員の飲酒の上での乗船客とのトラブルは、弁明の陳謝があったとはいえず、公務執行中の立場で遺憾な言動であり議員の自覚に欠けるものであった。よって、同議員に今回の不祥事の反省を求め、市議会が市民の信頼を回復し、以上を表明し、以上を決議する。
 (採決結果) 全員賛成

介護保険法案の見直しを求める意見書
 (平成9年第2回定例会提案分)
 賛成 日本共産党、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会
 反対 市民共産党、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会
 退席 市民共産党、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会

可決された意見書・決議(要旨)
 地方分権に伴う地方自治体の税源移譲等に関する意見書
 真の地方分権には権限と税源の移譲は密接不可分である。よって、地方税の拡充等地方分権に不可欠な税源移譲及び補助金の適正化を速やかに図ることを強く求める。
 提出先 内閣総理・大蔵・自治大臣
 (採決結果) 全員賛成(退席 日本共産党)
 賛成 市民共産党、小金井市議会公明、社民、市民権、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会
 退席 自由民主党、自民クラブ、市民連合
 国民の祝日に関する法律の改正を求める意見書
 ゆとりある生活スタイルの実現、休暇の分散効果、地域の活性化及び経済波及効果、祝日本来の意義の浸透のため、祝日三連休化を実現することを強く要望する。
 提出先 内閣総理大臣
 (起立採決結果)
 賛成 市民共産党、小金井市議会公明、社民、市民権、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会
 退席 自由民主党、自民クラブ、市民連合
 三宅島友好訪問の帰途にトラブルを起した斎藤康夫議員にかかわる調査決議
 三宅島訪問は、来年に友好20周年をひかえて有意義な親善訪問であったが、その帰路の船中での齋藤康夫議員の飲酒の上での乗船客とのトラブルは、弁明の陳謝があったとはいえず、公務執行中の立場で遺憾な言動であり議員の自覚に欠けるものであった。よって、同議員に今回の不祥事の反省を求め、市議会が市民の信頼を回復し、以上を表明し、以上を決議する。
 (採決結果) 全員賛成
 介護保険法案の見直しを求める意見書
 (平成9年第2回定例会提案分)
 賛成 日本共産党、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会
 反対 市民共産党、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会
 退席 市民共産党、市民自治会、市民クラブ、生活者ネット、行政改革の会

委員会の動き

議案・請願・陳情の審議
結果は7頁、継続した
案件は8頁を参照して
ください。

厚文委

10月16日

厚生文教委員会(野見山修
吉委員長は、議案4件、議員
案1件、請願・陳情8件の計
13件を審査し、議案3件を可
決、請願・陳情3
件を趣旨採択とし、
議案1件、請願・陳
情4件を継続審査とした。な
お、議員案の「シルバーパス
事業の存続を求める意見書」
については保留とした(18日
の本会議で議員から撤回願
いが出され、その後、同様の議
案の部改正について)

員案が提出され可決した。
小金井市保育所入所措置条例
の全部改正について
①条例改正でどう変わ
るのか。②保育実施状
止する条例について

①各保育園でも配布したい。
②各園の実施状況資料を保育
園や担当課窓口で配布したい。
小金井市敬老金支給条例を廃
止する条例について

敬老金廃止条例を 継続審査

①都と同時
廃止で計1
万円を廃止。反響
が大きいのでは
②財政への内部努
力が足りないのでは

建設委

12月16日

建設委員会(井上忠男委員
長)は、議案2件、陳情2件を審
査し、いずれも継続審査とした。
自転車等の駐車秩序に関する
条例の部改正について

①撤去料を
引き上げる理
由は何か。②撤去された自
転車を撤去した場合の対応に工
大が必要はないか。③撤去料を引
き上げると引き取りに来る人が減
るのではなか。

①放置自転車撤去料・下水道
使用料値上げの議案を継続
審査する
②防衛庁の考
えもあるが、
今後どのよ
うに進展す
るか

一般会計

歳入歳出決算
市債の発行について

決算委

決算特別委員会(武井正
明委員長)は、平成8年度
小金井市一般会計歳入歳出
決算及び特別会計歳入歳出
決算4件、計5件の審査を
行った。
その結果、一般会計歳入
歳出決算については、可否
同数のため、委員長裁決に
より認定とし、残り4件に
ついては、賛成多数で認定
された。

予算委

予算特別委員会(稲葉孝彦
委員長)は、平成9年度小金
井市一般会計補正予算第3
回を審査し、原案のとおり
可決した。

行財政特委

行財政改革を推進する特
別委員会(佐野浩委員長)は、
請願1件を審査し、継続審査
とした。
安全な小金井の
学校給食を守る
請願書
本件については、
審査の判断基準とするための
資料要求が多くなる委員から出
された。

ごみ特委

ごみ問題調査特別委員会
(和田茂雄委員長)は、議員
案1件を審査し、原案可決と
決定した。
小金井市まちをきれいにす
る条例
閉会中の11月11日の委員会
で、2委員から修正案が提出
された。原案と併せて審査した。
採決のみ保留としていた。
今会期中に開催した委員会
では、起立採決の結果、修正
案を起立多数で否決し、原案
を起立多数で可決すべき
ものと決定した。

議運委

議会運営委員会(小川和彦
委員長)は、陳情1件を審査
し、趣旨採択した。
市政調査研究費の領収書を議
会事務局で監査(照合)・保
管・公開の議会事務局が「監
査」するとの表現について、
陳情者は、「趣旨採択する。チエ
ックする」との趣旨で使ってお
り、配布した陳情文書表の3
か所に「監査」を「監査(照
合)」に本会議で訂正されたの
を受け、本件は、陳情項目の
領収書の保存年限(10年)が
現行規定より5年であることも
あり趣旨採択と決定した。

決算委

(11月10・12・13日)

一般会計

歳入歳出決算
市債の発行について

①市債を発
行するに当
り、利率の交
渉等すべき
②民間資金等の
借入の利率等
の市の見解は
③市債につ
いては、現
在許可制にな
っており、なか
り、市債の
発行に際して
は、市民と市
政との信頼関
係を深めると
いう旨を一切省
いた理由は何か。④第3条は、
法解釈上も運用上も非常に誤
解を招くのでは、権利の保障
の说明責任は、権利の保障
を担保すると思うがど
うか

①歳入の徴収又は収
納の委任規定があり
それに基いて行っている
②市による監査は必要
に於いては可能であるが、
行っている役目があり、そ
の一定のチェックは行わ
れている。
③団体使用の場合の器具の
搬入、70歳以上または障害
者の方を優先としている

予算委

予算特別委員会(稲葉孝彦
委員長)は、平成9年度小金
井市一般会計補正予算第3
回を審査し、原案のとおり
可決した。

行財政特委

行財政改革を推進する特
別委員会(佐野浩委員長)は、
請願1件を審査し、継続審査
とした。
安全な小金井の
学校給食を守る
請願書
本件については、
審査の判断基準とするための
資料要求が多くなる委員から出
された。

ごみ特委

ごみ問題調査特別委員会
(和田茂雄委員長)は、議員
案1件を審査し、原案可決と
決定した。
小金井市まちをきれいにす
る条例
閉会中の11月11日の委員会
で、2委員から修正案が提出
された。原案と併せて審査した。
採決のみ保留としていた。
今会期中に開催した委員会
では、起立採決の結果、修正
案を起立多数で否決し、原案
を起立多数で可決すべき
ものと決定した。

議運委

議会運営委員会(小川和彦
委員長)は、陳情1件を審査
し、趣旨採択した。
市政調査研究費の領収書を議
会事務局で監査(照合)・保
管・公開の議会事務局が「監
査」するとの表現について、
陳情者は、「趣旨採択する。チエ
ックする」との趣旨で使ってお
り、配布した陳情文書表の3
か所に「監査」を「監査(照
合)」に本会議で訂正されたの
を受け、本件は、陳情項目の
領収書の保存年限(10年)が
現行規定より5年であることも
あり趣旨採択と決定した。

予算委

予算特別委員会(稲葉孝彦
委員長)は、平成9年度小金
井市一般会計補正予算第3
回を審査し、原案のとおり
可決した。

行財政特委

行財政改革を推進する特
別委員会(佐野浩委員長)は、
請願1件を審査し、継続審査
とした。
安全な小金井の
学校給食を守る
請願書
本件については、
審査の判断基準とするための
資料要求が多くなる委員から出
された。

ごみ特委

ごみ問題調査特別委員会
(和田茂雄委員長)は、議員
案1件を審査し、原案可決と
決定した。
小金井市まちをきれいにす
る条例
閉会中の11月11日の委員会
で、2委員から修正案が提出
された。原案と併せて審査した。
採決のみ保留としていた。
今会期中に開催した委員会
では、起立採決の結果、修正
案を起立多数で否決し、原案
を起立多数で可決すべき
ものと決定した。

議運委

議会運営委員会(小川和彦
委員長)は、陳情1件を審査
し、趣旨採択した。
市政調査研究費の領収書を議
会事務局で監査(照合)・保
管・公開の議会事務局が「監
査」するとの表現について、
陳情者は、「趣旨採択する。チエ
ックする」との趣旨で使ってお
り、配布した陳情文書表の3
か所に「監査」を「監査(照
合)」に本会議で訂正されたの
を受け、本件は、陳情項目の
領収書の保存年限(10年)が
現行規定より5年であることも
あり趣旨採択と決定した。

予算委

予算特別委員会(稲葉孝彦
委員長)は、平成9年度小金
井市一般会計補正予算第3
回を審査し、原案のとおり
可決した。

行財政特委

行財政改革を推進する特
別委員会(佐野浩委員長)は、
請願1件を審査し、継続審査
とした。
安全な小金井の
学校給食を守る
請願書
本件については、
審査の判断基準とするための
資料要求が多くなる委員から出
された。

ごみ特委

ごみ問題調査特別委員会
(和田茂雄委員長)は、議員
案1件を審査し、原案可決と
決定した。
小金井市まちをきれいにす
る条例
閉会中の11月11日の委員会
で、2委員から修正案が提出
された。原案と併せて審査した。
採決のみ保留としていた。
今会期中に開催した委員会
では、起立採決の結果、修正
案を起立多数で否決し、原案
を起立多数で可決すべき
ものと決定した。

議運委

議会運営委員会(小川和彦
委員長)は、陳情1件を審査
し、趣旨採択した。
市政調査研究費の領収書を議
会事務局で監査(照合)・保
管・公開の議会事務局が「監
査」するとの表現について、
陳情者は、「趣旨採択する。チエ
ックする」との趣旨で使ってお
り、配布した陳情文書表の3
か所に「監査」を「監査(照
合)」に本会議で訂正されたの
を受け、本件は、陳情項目の
領収書の保存年限(10年)が
現行規定より5年であることも
あり趣旨採択と決定した。

予算委

予算特別委員会(稲葉孝彦
委員長)は、平成9年度小金
井市一般会計補正予算第3
回を審査し、原案のとおり
可決した。

行財政特委

行財政改革を推進する特
別委員会(佐野浩委員長)は、
請願1件を審査し、継続審査
とした。
安全な小金井の
学校給食を守る
請願書
本件については、
審査の判断基準とするための
資料要求が多くなる委員から出
された。

ごみ特委

ごみ問題調査特別委員会
(和田茂雄委員長)は、議員
案1件を審査し、原案可決と
決定した。
小金井市まちをきれいにす
る条例
閉会中の11月11日の委員会
で、2委員から修正案が提出
された。原案と併せて審査した。
採決のみ保留としていた。
今会期中に開催した委員会
では、起立採決の結果、修正
案を起立多数で否決し、原案
を起立多数で可決すべき
ものと決定した。

議運委

議会運営委員会(小川和彦
委員長)は、陳情1件を審査
し、趣旨採択した。
市政調査研究費の領収書を議
会事務局で監査(照合)・保
管・公開の議会事務局が「監
査」するとの表現について、
陳情者は、「趣旨採択する。チエ
ックする」との趣旨で使ってお
り、配布した陳情文書表の3
か所に「監査」を「監査(照
合)」に本会議で訂正されたの
を受け、本件は、陳情項目の
領収書の保存年限(10年)が
現行規定より5年であることも
あり趣旨採択と決定した。

予算委

予算特別委員会(稲葉孝彦
委員長)は、平成9年度小金
井市一般会計補正予算第3
回を審査し、原案のとおり
可決した。

行財政特委

行財政改革を推進する特
別委員会(佐野浩委員長)は、
請願1件を審査し、継続審査
とした。
安全な小金井の
学校給食を守る
請願書
本件については、
審査の判断基準とするための
資料要求が多くなる委員から出
された。

ごみ特委

ごみ問題調査特別委員会
(和田茂雄委員長)は、議員
案1件を審査し、原案可決と
決定した。
小金井市まちをきれいにす
る条例
閉会中の11月11日の委員会
で、2委員から修正案が提出
された。原案と併せて審査した。
採決のみ保留としていた。
今会期中に開催した委員会
では、起立採決の結果、修正
案を起立多数で否決し、原案
を起立多数で可決すべき
ものと決定した。

議運委

議会運営委員会(小川和彦
委員長)は、陳情1件を審査
し、趣旨採択した。
市政調査研究費の領収書を議
会事務局で監査(照合)・保
管・公開の議会事務局が「監
査」するとの表現について、
陳情者は、「趣旨採択する。チエ
ックする」との趣旨で使ってお
り、配布した陳情文書表の3
か所に「監査」を「監査(照
合)」に本会議で訂正されたの
を受け、本件は、陳情項目の
領収書の保存年限(10年)が
現行規定より5年であることも
あり趣旨採択と決定した。

予算委

予算特別委員会(稲葉孝彦
委員長)は、平成9年度小金
井市一般会計補正予算第3
回を審査し、原案のとおり
可決した。

行財政特委

行財政改革を推進する特
別委員会(佐野浩委員長)は、
請願1件を審査し、継続審査
とした。
安全な小金井の
学校給食を守る
請願書
本件については、
審査の判断基準とするための
資料要求が多くなる委員から出
された。

ごみ特委

ごみ問題調査特別委員会
(和田茂雄委員長)は、議員
案1件を審査し、原案可決と
決定した。
小金井市まちをきれいにす
る条例
閉会中の11月11日の委員会
で、2委員から修正案が提出
された。原案と併せて審査した。
採決のみ保留としていた。
今会期中に開催した委員会
では、起立採決の結果、修正
案を起立多数で否決し、原案
を起立多数で可決すべき
ものと決定した。

原因と考えられる。昨年か
ら労働安全衛生委員会をつく
り、労働安全衛生に關しての
改善を検討して見ている。現在
の財政状況から見て新規採用
は難しい。1・2年の間は各
職場とも子どもた
ちに影響が出ない
よう御工夫で臨
職対応をお願いし
ている。④現在、
欠員分については、内部見直
しにより任用換え等なるべく
補充しないで埋める考え方
であるので、人数の子測はつ
げにくいものがある。

本 会 議

(12月18・19日)

18日の本会議では、小金井市議会議員の政治倫理条例第3条第3号及び第5条に伴い、斎藤康夫議員から

「情報公開条例」に対し、及び今後の対応等について質疑が行われました。

また、小尾武人議員から「情報公開条例」に對し、新たな修正案提出

市の原案に12項目の修正を加えた修正案が提出され、採決の結果、本会議で別の議員より動議として新たに提出された市の原案に6項目の修正を加えた修正案が、本会議で採決されたこととなりました。

次に、市営住宅条例、高齢者住宅条例に関する議案が提出され、説明質疑の後それぞれ総務委員会、厚生文教委員会に付託し、継続審査となりました。

また、会期を1日延長し、19日までと

政治倫理条例違反で陳謝

斎藤康夫議員から「11月22日、24日三宅島行政視察の帰路の船中で他の乗客とのトラブルを起した

体について議会全体に多大な迷惑をおかけしたことを深くお詫言申し上げます。

相手方との和解も済みましたが、公人としての自覚に欠けた行動を深く反省し、市民の皆様に対し深くお詫言を申し上げますとの陳謝が行われました。

小尾武人議員 緊急質問

テレビアニメ番組「ポケモン」視聴による現在把握している小金井市の子どもの被害状況

情報公開条例を再議へ

開会を0時5分に繰り上げて行われた19日の本会議では、審査の終了した案件の討論採決が行われる中、「情報公開条例」に對する委員提出の修正案が採決され、大久保市長は再議の申し出をいたしました。

また、議員案として意見書14件、決議1件が提出され、すべてが採決されました。

修正可決された情報公開条例を再議

委員会で修正可決された「情報公開条例」の本会議での可決に對して、大久保市長は、この結果に異議があるため再議に付した

日の申し出をし、12月22日に臨時会を開き再度採決されることとなりました。

臨時会で再び可決されるには、議員の3分の2(17人)以上の賛成が必要となります。

※再議 地方自治法第108条により、市長が議会で行った議決に対し、異議があるとして、審議のやり直しを

討 論

平成9年度東京都小金井市一般会計補正予算(第3回)

野見山議員 反対討論(要旨)

九月議会で、東町在住南小児童の通学路の安全確保を求める請願が、父の短く不安な見通しを前にという思いから、全会一致で採択されました。

この請願は、部局の答弁には具体的進展は見られませんが、この請願をかけた市に過剰な負担をかけるまいといういな方法を検討し、悩んだ末の請願でした。

確かに小金井市の財政は厳しく、監視員をシルバー人材センターに委託するわけは、予算を父母の手にせよ、補助金が不足するにせよ、補正予算をどうするか、議会の総意に背を向ける市長の姿勢は許容できません。よって反対します。

内需を喚起し景気を回復するための減税を求める意見書

賛成討論(要旨) 日本共産党 森戸議員

反対の理由は、減税の財源が不明確なことである。本意見書にあるような歳出の抑制と新規事業の追加は両立するとは思えず、財政再建の見通しのない減税では、景気回復は期待できない。

まず行政改革を行って、その財源を大衆減税を行うべきだと考える。特殊法人、財政融資を格別とする官公債の構造にメスを入れれば、減税の財源は充分に確保できる。今必要なのは、このことをしっかりと指摘し、減税を実現するために行動することだと考える。よって反対する。

賛成討論(要旨) 自由民主党 渡辺(昭)議員

反対の第一の理由は、市民の切実な願いにこたえ、くらしや営業を守る緊急予算が組まれていないことである。

とりわけ、9月定例会で採択した「東町から南小に通う児童の安全確保のために非常勤職員を増やしてほしい」という陳情への対応がなされていない。緊急の予算を組むべきである。

第二に、今年度退職する職員の欠員について臨時職員で対応する予算が組まれていることである。とりわけ、重労働である学校給食や職員削減計画にもない保育について、欠員を補充し、市民サービスの低下を許容すべきである。以上、反対討論とする。

賛成討論(要旨) 長谷川議員

長びく不況、景気の低迷、失業の増大と国民、市民のくらしは大変な状況になっており、その原因は消費税5%増税、医療改善などで9兆円の国民負担増にあることは明瞭。橋本内閣の失敗だ。

日本共産党は、国民生活を守り、消費増税を高め、景気回復のために5兆円、所得税3%に戻して5兆円、消費税の恒久減税で2兆円、あわせ7兆円の減税を提案する。財源は、50兆円の公共事業費、5兆円の軍事費を削減することで確保できる。

又、国民の可処分所得の増大を図り、個人消費の喚起を図るため、大幅な所得税の減税が必要である。よって同意することである。

討 論

平成8年度東京都小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について

井上議員 賛成討論(要旨)

小金井市の平成8年度決算の経常収支比率は111.4%で、全国都市中のワースト1です。

その原因は、バブル時代の30億円の土地を買取り借入返済が毎年23億になっていること。また、借入金返済の経費に4億も払っていること。国の減税政策で3年間で50億円減収になったことです。

決算では、建築確認をとりえずに建物建設し、取り壊すこと、税金のムダづかいがあること、法人格を持った人件費の抑制を図らない限り改善策を講ずるべきである。以上、賛成討論とする。

賛成討論(要旨) 稲葉議員

平成8年度の財政運営は、市民税等の大幅な歳入減により極めて厳しい財政状況でしたが、繰越金や基金、起債の有効な活用と使用料、手数料の新設・改定による増収で各々の採決である。罰則を課すことを初めから目的としたものでなく、市民全員が自ら

の意思で日々と取り組む課題であることを明らかに宣言したものである。和歌山市や亀山市等の先進市において罰則付き条例が効果をあげており、また最近の全国各都市の取り組みと状況を見ると、本案が考えうるベストの条例だと思ふ。願くは、罰則が適用されないことをお願いしたい。

賛成討論(要旨) 小尾議員

市内在住の作家がボイコットされた空き缶等を長年、拾い上げてまちを美しくもきれいにとの努力を積み上げてきたことへの敬意を表し、市民の皆様から多くの市民注視の中での採決である。罰則を課すことを初めから目的としたものでなく、市民全員が自ら

の意思で日々と取り組む課題であることを明らかに宣言したものである。和歌山市や亀山市等の先進市において罰則付き条例が効果をあげており、また最近の全国各都市の取り組みと状況を見ると、本案が考えうるベストの条例だと思ふ。願くは、罰則が適用されないことをお願いしたい。

賛成討論(要旨) 板倉議員

環境美化に関する独自の条例制定に反対するものではない。しかし、モラル・マナーといった自覚に関わるものが、罰則規定を設けることに賛成できない。

ボイコットが目的なら、関連法規を周知・適用すれば立派である。違反者には教育的立場で指導し、住民の意思と運動を合わせれば条例の実行性は担保される。また、罰則規定を設ければ、住民同士で運動する状況も無し、住民同士で不安もぬぐえない。そのこととは、直罰方式を導入している自治体が少ないことにより実行されるものでない。

賛成討論(要旨) 漢人議員

市民自治がねい、漢人議員、市民派議員クラブ、日本共産党、生活者ネット、市民自治がねいを代表して賛成討論を行います。情報公開制度について懸念の答申を後退させ、修正案は市の原案を大幅に修正しているため、懇談会の答申は公募を含む10名の見識ある方が1年6カ月、17回にわたって小金井市の情報公開制度について最もふさわしいのは何かと英知をかたむけて国等との協力関係情報などを開示しないことができる量を最小限に限定し市長の裁量権を縮小、③さかのぼって公開する範囲の拡大など、市民の立場に立ち市民参加を積極的

に進めていくものである。全国事例が少なくないことにより実行されるものでない。

議案・請願・陳情の審議結果			各会派の態度 ○賛成 ×反対 △出席 各派名下の()は所属議員数										議決結果	
			市民派議員クラブ(5)	日本共産党(5)	小金井市議会公明(3)	自由民主党(2)	市民クラブ(2)	社民・市民権(2)	市民連合(2)	市民自治(こがね)(1)	生活者ネット(1)	行財政改革の会(1)		
議案・請願・陳情名	付託委員会	説 明												
第3回 臨時会 案件														
平成9年12月に特別職の職員に支給する期末手当に関する条例の制定について	即決	厳しい財政状況を踏まえ、平成9年12月に特別職に支給する期末手当を減額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成9年12月に小金井市教育委員会教育長に支給する期末手当に関する条例の制定について	即決	厳しい財政状況を踏まえ、平成9年12月に教育長に支給する期末手当を減額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成9年12月に小金井市職員に支給する期末手当及び勤勉手当に関する条例の制定について	即決	厳しい財政状況を踏まえ、平成9年12月に市職員に支給する期末手当及び勤勉手当を減額するもの	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成9年12月に小金井市議会の議員に支給する期末手当に関する条例の一部を改正する条例(本案は議員案、他に提出された同様1件は議決不要となった。)	即決	厳しい財政状況を踏まえ、平成9年12月に市議会議員に支給する期末手当を減額するもの	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第4回 定例会 案件														
小金井市保育所入所措置条例の全部改正について	厚	児童福祉法の一部改正に伴い、本条例の全部を改正するもの	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
小金井市立保育園条例の一部改正について	厚	児童福祉法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するもの	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市情報公開条例の制定について(本会議に提出された修正案のうち、総務委員会での修正案と同一でない部分)			×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長裁決 否決
小金井市情報公開条例の制定について(本会議に提出された修正案のうち、総務委員会での修正案と同一の部分)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小金井市情報公開条例の制定について(総務委員会での修正案の残余の部分)			○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	議長裁決 可決
小金井市情報公開条例の制定について(本会議に提出された修正案と総務委員会での修正案の修正可決された部分を除く原案)			○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	議長裁決 可決
平成9年度東京都小金井市一般会計補正予算(第3回)	予	歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億29万4,000円を追加し、予算総額318億9,394万6,000円とするもの	×	3	△	2	×	○	○	○	○	×	○	原案可決
教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	即決	平成9年7月11日欠員となった教育委員会委員に有澤晋郎氏を任命するもの	○	2	△	3	△	○	○	○	○	△	○	同意
小金井市教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の制定について	即決	一連の不祥事の管理責任を明確にするため、平成10年1月の給料の減額を行うもの	×	○	○	×	×	○	△	○	○	○	○	原案可決
平成8年度東京都小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について	決	歳出決算総額を310億1,341万538円とするもの	×	×	○	○	○	○	○	×	○	△	○	認定
平成8年度東京都小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決	歳出決算総額を51億3,395万1,192円とするもの	×	3	△	2	×	○	○	○	○	×	○	認定
平成8年度東京都小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	歳出決算総額を20億7,685万614円とするもの	○	4	△	1	×	○	○	○	○	×	○	認定
平成8年度東京都小金井市受託水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	歳出決算総額を19億6,742万6,630円とするもの	○	3	△	2	×	○	○	○	△	○	○	認定
平成8年度東京都小金井市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決	歳出決算総額を64億3,985万6,742円とするもの	○	×	○	○	○	○	○	○	△	○	○	認定
重度障害児・者の通所訓練グループへの補助金の減額に関する請願書	厚	重度障害児・者の通所訓練グループへの補助金の減額緩和を求めるもの	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
小中学校の図書館に専任の司書配置を求めることに関する請願書	厚	市内小中学校の図書館に専任の学校司書の配置を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
小金井市の福祉と教育がさらに充実することを求める陳情書	厚	学校給食と小金井の保育の現在の内容を守ることを求めるもの	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	議長裁決 採択
公共工事における適正な現場資金の支払いを求める陳情書	総	市発注の公共工事の現場資金を1日千円以上引き上げるよう求めるもの	×	2	△	3	○	×	×	×	×	○	×	不採択
自治体発注の公共工事における「下請指導指針」の早期制定により、元請・下請関係の適正化と地元中小建設者の育成をはかるための陳情書	総	地域建設産業の振興施策を確立し、関係業者への指導要綱の制定を求めるもの	○	3	×	2	○	×	×	×	×	×	×	不採択
「国民の祝日に関する法律」の改正の実現に関する陳情書	総	祝日三連休化を実現するよう国に意見書提出を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	○	採択
国民生活重視の財政再建を求める意見書の採択を求める陳情書	総	公共投資や軍費のムダ遣いをやめ、国民生活重視の財政再建を行うよう国に意見書提出を求めるもの	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
市政調査研究費の会計証拠資料である領収証を議会事務局で監査(照合)・保管・公開していただくことを求める陳情書	議	市政調査研究費に関する領収証の議会事務局での監査(照合)、10年間保管・公開を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
小金井市まちをきれいにする条例に対する修正案	ごみ特	原案に対して罰則規定を削るもの	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
小金井市まちをきれいにする条例(原案)	ごみ特	小金井市域において、清潔で美しいまちづくりを推進し、市民の快適な生活環境を確保するもの	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長裁決 原案可決
小金井市長、小金井市助役及び小金井市収入役の給料の特例に関する条例の制定について	即決	一連の不祥事の管理責任を明確にするため、平成10年1月の給料の減額を行うもの												
小金井市老人の看護料資金貸付基金条例を廃止する条例について	厚	健康保険法等の一部改正及び付添看護に係る経過措置に関する省令により、廃止するもの												
小金井市福祉共同作業所の直営廃止に伴う問題についての陳情書	厚	福祉共同作業所の直営廃止に関して、市の見解を陳情者に明らかにするよう働きかけを求めるもの												
「保育にかかわる国会付帯決議の尊重等を求める意見書」提出に関する陳情書	厚	児童福祉法改正に当たって国会付帯決議の尊重等を求める意見書提出を求めるもの												
老人医療費助成(マル福)の現行のまま継続する事を東京都知事に要請する陳情書	厚	老人医療費助成の対象の変更を行わず、現行のまま継続するよう、都に求めるもの												
小金井市公立保育園の障害児保育指定園拡大に関する陳情書	厚	中央線の南側の園での障害児保育実施等を求めるもの												
小金井市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	総	市長の付属機関として小金井市情報公開・個人情報保護審査会を置くもの												
小金井市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	総	市長の付属機関として小金井市情報公開・個人情報保護審査会を置くもの												
小金井市職員定数条例の一部改正について	総	本市の財政事情及び他の地方公共団体の状況を勘案し、職員数の減を行うもの												
小金井市防災会議条例の一部改正について	総	委員の総数を変更し、内容の訂正をするもの												
市内の小型焼却炉・簡易焼却炉等の使用に関する陳情書	ごみ特	ダイオキシンによる環境汚染を憂慮し、市内の焼却炉の使用方法について検討を求めるもの												

※表中「付託委員会」「議決結果」欄の文字は次の名称の省略です。

厚：原本文教委員会
 総：総務委員会
 建：建設委員会
 予：予算特別委員会
 決：決算特別委員会
 議：議会運営委員会
 ごみ特：ごみ問題調査特別委員会
 即決：委員会付託を省略し、本会議で採決したもの
 可決：市長から提出された議案に対して賛成されたもの(否決は逆)
 採択：可決と同趣旨で請願や陳情に対するもの(不採択は逆)
 趣旨採択：願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてないもの
 同意：市長から提出された議案に対して同意されたもの
 認定：市長から提出された議案に対して認定されたもの

※表中の△印は、討論が行われたものを示す。

可決・採択(全員賛成)

討 論

※6頁からの続き

小金井市保育所入所措置条例の全部改正について

賛成討論(要旨) 自由民主党 中根議員

本条例は、児童福祉法が改正されることに伴って保育の実施基準等に関する条文を整理するために改正するもので、国や他市等と歩調を合わせることに反対の理由は見当たらない。措置を保育の実施と改めることは人権を尊重する現代の時流に合った行為と考える。安定した社会、落ち着きのある家庭の中で血を分けた親が慈み育てることが子どもにとって幸せな自然の姿と思うが、諸々の状況から保育に欠ける子の数が増えている。行政としては可能な限り充実した施策を行っていただきたい。暖かい地域を希求し、保育ボランティアについても導入することを希望し賛成する。

介護保険法案の見直しを求める意見書

賛成討論(要旨) 日本共産党 大島議員

介護保険法案には、保険料の負担が重く、国保税について滞納者がふえること。利用者から利用料の負担に耐えきれず介護から外されていくこと。多くの問題点が明らかになっている。意見書では、第一に、希望する要介護者が介護給付を受けられるようにすること。第二に、国の責任で整備体制を行うこと。第三に、非課税世帯や高齢者、低所得者から保険料を徴収しないこと。第四に、保険と措置制度を組み合わせる。第五に40歳以上の介護の対象となっており、緊急に国に意見書をあげる必要がある。ぜひ賛成を。

小金井市教育委員会教育長の給料の特例に関する条例の制定について

反対討論(要旨) 市民派議員クラブ 渡辺(大議員)

今回の一連の不祥事は、全く市長部局において引き起こされたものであって、教育長の責任を問う必要はないと考える。「教育」は独立した行政委員会である教育委員会が行っており、その独立を犯すことになってしまふ。むしろ減給処分すべきなのは当該不祥事を引き起こした職員であらねないことこそ問題がある。職責に応じた給与体系への変更作業が進められているが、今後「減給処分」のあり方についても十分な検討をしてもらいたい。そのための減給処分には反対するものである。

地球温暖化防止会議の議長国として日本政府が国際的責任を果たすことを求める意見書

賛成討論(要旨) 市民派議員クラブ 若竹議員

1、U.N.E.P「モントリオール議定書」により、先進国の特定フロン生産は95年末に全廃されたが国内20年分の在庫や、廃棄物からの回収処理問題は未解決である。アメリカやヨーロッパ諸国はすでにフロン大気放出の厳罰付法規制がなされ、先進国で罰則法規制がないのは日本のみである。2、国内の特定フロン消費は減少、逆に代替フロン生産は伸びている。フロン類の温暖化係数20累積はCO2に相当する。3、冷庫庫内は7千個、エアコン用で4千個、温暖化とオゾン層破壊防止のためフロン排出、製造、輸出等の法規制を求め、その他の項目に賛成し、討論とする。

閉会中の委員会日程と引き続き審査する案件

中央線・駅周辺整備調査特別委員会

平成10年1月27日(火) 午前10時

- ▶中央線連続立体交差化、南北交通難解消及び駅周辺開発に係る諸問題の調査
- ▶東小金井駅北口区画整理事業の地元で公開の話し合いを求める陳情書

総務委員会

平成10年2月4日(水) 午前10時

- ▶小金井市消費生活条例の制定について
- ▶小金井市市営住宅条例の全部改正について
- ▶「市民レジャー農園」の充実と「レジャー農園公社」の設立に関する請願書
- ▶小金井市役所北町分室移転促進に関し、具体的な見直し及び敷地の見直しを要求する事に関する陳情書
- ▶小金井市消費生活条例に検討委員会の答申を尊重することを求める事に関する陳情書
- ▶小金井公園野外ステージ建設計画反対に関する陳情書
- ▶小金井公園野外ステージ建設計画を推進にすすむ住民合意にむけ協議を行うことを求める陳情書

厚生文教委員会

平成10年2月6日(金) 午前10時

- ▶小金井市敬老金支給条例を廃止する条例について
- ▶小金井市高齢者住宅条例の制定について
- ▶学童保育を必要とする障害児の全員入所を求める請願書
- ▶肢体不自由児も安心して地域の学校へ通えるよう市内小・中学校の設備の改善を求める請願書
- ▶たすけあいワーカーズ「はっとわあく」の家賃助成に関する請願書
- ▶難病者福祉の向上をめざす請願書
- ▶あかね学童保育所の保育環境の早期改善を望む陳情書
- ▶国に学童保育の整備・充実の促進を求める意見書の提出に関する陳情書
- ▶学童保育の整備、内容の充実等に関する陳情書
- ▶市立ピノキオ幼児園の常勤看護婦の非常勤化に対して撤回を求める陳情書

「公的保育制度を守り、保育の拡充を求める意見書」提出に関する陳情書

建設委員会

平成10年2月13日(金) 午前10時

- ▶小金井市自転車等の駐車秩序に関する条例の一部改正について
- ▶小金井市下水道条例の一部改正について
- ▶市民参加による都市計画マスタープランの策定を求める陳情書
- ▶(仮称)本町4丁目地区計画実現と小金井街道整備活性化に関する陳情書
- ▶小金井市公共下水道使用料の値上げ反対に関する陳情書
- ▶小金井街道整備活性化に関する陳情書

ごみ問題調査特別委員会

平成10年2月19日(水) 午前10時

- ▶ごみ減量及び終末処理対策に係る諸問題の調査

行財政の改革を推進する特別委員会

平成10年2月23日(月) 午前10時

- ▶行財政の改革を推進することに係る諸問題の調査
- ▶とてもおいしく、安全な小金井の学校給食を守る請願書

議会運営委員会

平成10年2月26日(木) 午前10時

- ①次期定期会(臨時会を含む。)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査
- ③議会運営に関する議長の諮問事項について
- ▶市議会議員の定数削減を求める請願書
- ▶情報公開時代に積極的に対応し、市議会のCATV放送・モニター放送を進めていただくことを求める陳情書
- ▶小金井市議会の議員定数を26に増加させることを求める陳情書

12月19日で審議未了になった案件

総務委員会

- ▶小金井市情報公開条例についての陳情書

中央線・駅周辺整備調査特別委員会

- ▶東小金井駅北口区画整理事業計画案の小金井市都市計画審議会への諮問を求める陳情書

お知らせ

第3回臨時会

平成9年第3回臨時会は、11月28日(金)に開会し、市長から送付された議案3件と議員から提出された議案2件が提出され、議案3件と議員案1件を原案可決とし、残りの議員案1件については先に同趣旨の議員案を可決したため、議決不要となりました。

第4回臨時会

平成9年第4回臨時会は、12月22日(月)に開会し、19日の本会議で修正可決された「情報公開条例」に対する再議が行われ、1月8日には、議員から1月8日に提出された2つの修正案を撤回した旨の申し出があり、これを承認しました。その後、市長から申し出のあった原案の8か所の訂正を許可し、採決の結果、全員賛成で可決しました。また、この条例に対して出された付帯決議2件のうち、1件を可決し、1件を否決し、閉会となりました。(審議結果は次号に掲載)

次の市議会定例会は

3月3日から開催予定です。

編集後記

謹賀新年。昨年12月の臨時会と一月の臨時会の議案を振り返らせて頂きます。退職金すら借金で払わざるを得なくなってきた市の財政危機をいかに克服するかに、議会も全力で奮闘努力している所で、ご理解のほどを。(佐野記)

小金井市情報公開条例の議案について会期延長して平成10年1月8日まで年を越した議会となった。最後は市長訂正で結論がついた。四期目で初めての議会報編集委員をして感ずる所が非常に大である。(渡辺(大議員))